

ごあいさつ

国際建設・測量展 実行委員長 谷 鉄也



このたび「国際建設・測量展(CSPI-EXPO)」を開催するにあたり、デジタル庁、経済産業省、国土交通省、環境省からご後援、さまざまな業界団体からご協力いただき盛大に開催することができ、深く感謝申し上げます。

CSPI-EXPO2025は18日から21日までの4日間、幕張メッセで開催します。

未来を担う製品—見て・体験

今年から4日間開催となり、21日に限り、出展さまざまなご家族、来場者さまのご家族で展示会にお越しいただけます。さらにお子さまを来場に誘致することで、業界に対する憧れや親しみを促すことが、将来、本業界で働きたいと思ってもらえる場につながると思います。建設業界・測量業界全体の課題解決の場として、またセミナー会場では、業界の未来を担う最新の製品・技術・サービスを会場で見学・体験していただくことで、新たな交流やアイデアが生まれ、業界全体にとって有益であると考えております。

屋内展示場と隣接する屋外展示場は、建機、アタッチメント、測量機器などのデモンストレーション会場となります。ここでは普段なかなか見られない、製品・技術・サービスの実演が行われます。また、新サービスなど、昨今注目される海外進出や解任業に関するセミナーも行います。事前受付で満席のセミナーもあり、当日若干名の受付を行います。

関係者一同、皆さまのお越しをお待ちしております。ぜひお誘い合わせのうえ、ご来場ください。

18日開幕

幕張メッセ

国内最大級—実機の稼働 体感

国際建設・測量展

CSPI-EXPO

「国際建設・測量展(CSPI-EXPO)」が、18日から21日までの4日間、千葉市美浜区の幕張メッセで開かれる。建設や測量の生産性向上につながる技術を提供する405社が、2765小間で出展する。開場時間は10時から17時(21日は16時)まで。主催は国際建設・測量展実行委員会。入場には招待券または事前登録が必要。詳細は公式サイト(<https://cspi-expo.com/>)へ。

匠の技—デジタル化

CSPI-EXPOは2018年に初回を開催して以来、年々規模を拡大し、今回は過去最大規模での開催となった。名称を「建設・測量生産性向上展」から改め、「国際」を冠して海外に対する訴求力を高めている。

今回、初めて土曜日も開催する。谷鉄也同展実行委員長は「子どもたちが来られるようにした。業界に憧れや親しみを感ずてもらい、迫力ある建設機械を間近に見て感動してほしい」と話す。

建設業界は「きつい・汚い・危険」といった3Kのイメージが根深く、若手の人材確保が難しくなっている。入職者を増やすためには業界のイメージアップが欠かせない。屋外会場で現場見学会などで、子どもたちが「建設業界はカッコイイ」と感じる機会をつくるのが重要だ。

子どもに「迫力ある建機」

建設業界は就業者全体の高齢化が進み、今後は高齢職業者の大量退職が見込まれている。人手不足が拡大する中、限られた人材で仕事をこなすにはデジタル技術やデータを活用して生産性を高める必要がある。

インフラ建設現場ではICT建機を活用した作業の自動化が進む。3次元(3D)設計データを連携させることでオペレーターの熟練度依存性のない施工が可能となる。作業データは自動で記録され、施工管理の効率化もできる。

国土交通省は建設現場のオートメーション化を推進する。今後は各種センサーにより現場の情報を取得し、AI(人工知能)などを活用して自動的に行きわたる施工計画に基づいて、1人のオペレーターが複数の建機を操作することを目指す。



主要な建機・測量メーカーが最新技術を披露する(2024年会場)



建機の遠隔操作は労働環境の改善につながる(2024年)

必要に応じて3Dモデルを別途作成するケースが多かったが、今後は設計プロセスから3Dモデルを作成する。施工・管理まで同じデータを活用し、設計データの積算やICT建機での施工、鋼橋の工場製作などに使われる。そのほか監督や検査をリモート化・オフサイト化する技術も進展している。

会場ではこうした現場の生産性を高める技術が見られる。タタやコベルコ建機は建機の遠隔操作を実演する。離れた場所にある建機の運転席とその周辺に設置されたカメラによる映像を見ながら、会場にあるコントロールで建機を操作する。遠隔操作により、従来の真夏の暑い中で実施していた作業を、冷房が効いた快適な室内で行える。「3K」のイメージを払拭する技術だ。



屋外展示場では建機のデモンストレーションが見られる(2024年会場)

CSPI-EXPO 2025
国際建設・測量展
International Construction & Survey
Productivity Improvement EXPO

建機—遠隔操作／ドローンで測量

活用した地形図作成や災害時の状況把握、送電線の検査、構造物のひび割れ調査、農林業での調査を行うシステムなどが展示される。中小規模の測量会社向けに、機能や操作をシンプルにしたモデルも出品される。

出展企業はコマツやタタ、日立建機、キャタピラー、住友建機、クボタ、ヤンマー建機、ボブキャットと躍った世界で活躍する建設機械メーカー大手が勢ぞろいする。トフコンやニコソ・トリンブル、ライカジオシステムス、FARO、リールなどの測量大手企業のほか、レンタル分野のアクティオ、カナモト、西尾レントオール、レンタルのニッケンなども出展する。

そのほか六つの会場でセミナーが開かれる。有識者による特別セミナーや出展企業による製品・技術PRセミナーが予定されている。特別セミナーは事前申し込み制。PRセミナーは当日申し込み制で、いずれも聴講無料となっている。

改正労基法1年

24年4月、改正労働基準法における時間外労働の上限規制が、建設業に適用された。適用前の23年10月から12月にかけて、建設産業専門団体連合会が専門工事会社に行った調査では、「建設業には不向きな規制」「時間外労働分の賃金が減るのは厳しい」「建設現場(移動式クレーン業)は会社と工事現場の往復も労働時間となる。規制を守るには現場での労働時間を短縮しなければならない」「圧送機はコンクリート打設後にポンプ車を洗浄・整備する。早期の移動や待機時間も含まれて1日14時間勤務となる」といった声が上がった。

施行から1年たち、同連合会の柳澤庄一専務理事は「今のところ

建設業—一部単価に上乗せ

現場が大きく混乱しているという声は聞かない」と話す。現地集合・解散の業種はもとより定時で就労しており、施行の前後であり変わらない。懸念を抱えている建設現場や圧送機では「一部の元請けは超過分の人材を雇えるように人件費を単価に上乗せしている」(柳澤専務理事)という。

内装仕上げなど後工程の業種は、工期が短へなりがちだ。納期が迫る中、限られた勤務時間で工事を進めなければならないが、「協力会社などから人手を集め、何とか間に合わせているのだろ」と同と推測する。

しかし今後、人手不足が深刻化するのだから、今のうちに若手人材を確保して育成する必要がある。建設業の魅力向上は喫緊の課題だ。

若手人材の育成急務

最新の建機・重機・アタッチメント・測量機器・ソフトウェアなどが幕張メッセに集結する4日間!



CSPI-EXPO 2025
第7回 国際建設・測量展
International Construction & Survey
Productivity Improvement EXPO

建設・測量生産性向上展より名称変更し開催いたします

6月18日(水)・19日(木)・20日(金)・21日(土)

21日(土)に限り、ご家族(お子様連れなど)でご来場いただけます

幕張メッセ

主催: 国際建設・測量展 実行委員会
後援: デジタル庁 経済産業省 国土交通省 環境省
協力: (公社)土木学会 (一社)全国土木施工管理技士会連合会 (一社)日本建設業連合会 (一社)全国建設協会 (一社)国際建設技術協会 (一社)建設業振興基金 (一社)日本建設機械工業会 (一社)日本建設機械施工協会 (公社)日本測量調査技術協会 (公社)日本測量協会 (一社)日本測量機器工業会 (一社)全国測量設計業協会連合会 (一社)建設コンサルタント協会 (一社)日本橋梁建設協会 (一社)プレストレスト・コンクリート建設協会 (一社)ドローン測量教育研究機構 (一社)日本UAS産業振興協議会
協力展示会: 関西物産展
海外協力展示会: CONEXPO-CON/AGG(アメリカ)、World of Concrete(アメリカ)、SaMoTer(イタリア)、Glasstech and Fenestration Asia(インドネシア)、CONEX KOREA(韓国)、BuildTech Asia(シンガポール)、Building Construction Technology Expo(タイ王国)、KOMATEK(トルコ)
国際連携団体: Association of Equipment Manufacturers (AEM・アメリカ)、Italian Construction Equipment Association (UNACEA・イタリア)、Committee for European Construction Equipment (CECE・欧州連合)、Korea Construction Equipment Manufacturers Association (KOCEMA・韓国)、Spanish Manufacturers Association of Construction (ANIMOPYC・スペイン)、The Turkish Construction Equipment Distributors & Manufacturers Association (IMDER・トルコ)



来場登録受付中(無料)

ご来場の方に土木学会 CPD、全国土木施工管理技士会連合会 CPDSを日毎にそれぞれ付与

※会場内 CPD・CPDS受付にて必ず申請が必要となります

来場登録・セミナー申込はこちら(無料)



革新の先駆車。

エコロジーとテクノロジーが融合した
世界初[※]のフル電動ラフテレーンクレーン登場。

※当社調べ

EVOLT
ROUGH TERRAIN CRANE
eGR-250N

CSPI-EXPO 2025

国際 建設・測量展

屋内・屋外 2つのブースで出展

日程：6月18日(水)～6月21日(土)

会場：幕張メッセ

当社出展ブース

屋内小間番号：12-70 屋外小間番号：ODA-08

株式会社 タダノ

本社 香川県高松市新田町甲34番地 TEL.(087)839-5555(代表)
東京オフィス/東京都千代田区神田錦町2丁目2番地1(KANDA SQUARE 18階) TEL.(03)6811-7295

www.tadano.co.jp

CSP I-EXPO 2025

第7回 国際 建設・測量展

ハイダック

ハイダックは主力製品のアキユムレーター、フィルター、クーラーに加え、カーボンニュートラルな市場のニーズに対応した電動化技術製品を新しくラインアップした。

今後、ハイダックグループの独Invenox製バッテリー、独ENGIRO

製モーターおよびサーマルマネージメントなどの製品とともに、総合的なシステムインテグレーターとして、eモビリティ市場に各製品を投入していく。

ブースでは今後のeモビリティに対応する新製品を紹介する。

コマツ

コマツはEARTHBER AI Nと共同出展する。建設機械やスマートコンストラクション商品を表示するほか、ステージで各種プレゼンテーションを実施する。

今回は「PC200i-12から生まれる新たな未来現場をお客さまと共に創

る」をコンセプトに、ブースでは昨年に発売したPC200i-12のほか、今年度発売予定のスマートコンストラクション各種ソリューションアプリなどを紹介する。屋外エリアではPC200i-12の新機能やチルトロータータ装着車の実演を予定。

タダノ

タダノは移動式クレーンの遠隔地操作システムを紹介する。離れた場所にある実機の運転席とその周辺の映像を見ながら、会場のコックピットでクレーン操作を実演予定。

また新たにタダノグループに加わったManitexグループの製品も参考出

品する。クレーンと高所作業車計2機種を展示予定。

そのほか現在開発中の環境対応製品なども紹介し、中期経営計画に掲げる「Reaching new heights」のスローガンに沿った取り組みをアピールしていく。

有力企業の製品・技術 順不同

このほかB・C会場でも特別セミナーを実施。詳細はCSPI-expo.com参照

業界のキーパーソンによる特別セミナーを開催！全セミナーは当日受付も行います



CSPI-EXPO 2025

International Construction & Survey
Productivity Improvement EXPO

第7回

国際建設・測量展

建設・測量生産性向上展より名称変更し開催いたします

6月18日水・19日木・20日金・21日土 幕張メッセ

21日(土)に限り、ご家族(お子様連れなど)でご来場いただけます

											
	  										
								聴講者に来場分とは別で土木学会 CPD・全国土木施工管理技士会連合会 CPDS 建設コンサルタンツ協会のCPDを別ユニットとして付与 ※会場内 CPD・CPDS 受付にて必ず申請が必要となります			

ご来場の方に土木学会 CPD、全国土木施工管理技士会連合会 CPDSを毎日にそれぞれ付与

※会場内 CPD・CPDS 受付にて必ず申請が必要となります

来場登録・セミナー申込はこちらから(無料)

